

読書メモ 2019年12月号

藤森かよこ著

『馬鹿ブス貧乏で生きるしかないあなたに
愛をこめて書いたので読んでください。』

(KK ベストセラーズ・2019年)

やなぎさわかつひろ

柳沢克央 編

(信州・上田仮説サークル)

2019年12月21日(土), 12月例会用レポート

◇はじめに—

前回までの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく(適当に)おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。(私物)と書き添えてあるもの以外はすべて屋代高校図書室蔵書。

書籍を分類・選別してそれぞれ異なった方法で読むことが大切だと思っています。来年はこの点を意識して読書をしてさらにパワーアップしていきますのでよろしくご支援のほどお願いいたします。

◇12月に読んだ本

◎石井淳蔵・奥村昭博・加護野忠男・野中郁次郎共著『経営戦略論』（有斐閣・1985年）（古私物）

難解であるため、パス。積ん読から解放。たぶんすでに歴史的使命を終えている。深追いするのはやめる。

◎木村吉宏著『木村塾の奇跡』（PHP、2019年）

要するに成功の秘訣は人間修養であるということ。「利他」の生き方を極めることが成功をもたらす。感動的な話が満載。「人生の勝利の方程式七カ条」は必読。ここだけ読めば十分だろう。良い本である。ただし、読んだだけでは意味がない。実践することが大切。どの本についても言えること。読みやすい。

◎細谷功著『自己矛盾劇場』（dZERO・2018年）

自己矛盾のリストが満載で笑いながら読める。「自分の頭で考えろ」「まったく気にしない」「ノーコメント」「ネガティブな意見は禁止」「中途半端な知識で歴史を語るな」「全社一丸となって多様性を推進します」「他人の考え方に口出しすべきではない」などなど、笑える。解決法はひとことで言うと「メタ認知」をすればいい。

◎おおたとしまさ著『名門校の「人生を学ぶ」授業』（SB新書・2017年）

今の私には通読の必要がなかった。問題意識が生まれたときに辞書的に活用すると良いかなと思っている。見学に行ったような気分で書かれた軽めのタッチで読みやすそう。問題意識を持ったときに価値が生まれそうだ、あくまで私にとって…だが。

◎藤森かよこ著『馬鹿ブス貧乏で生きるしかないあなたに愛をこめて書いたので読んでください。』（KKベストセラーズ・2019年）

出版物の歴史に残るだろうすごい本。内容については、タイトルの通りで、言葉が汚すぎて、感想は書けない。ブックガイドとして最強。フェミニズム論の歴史に残ることは間違いない。サヴァイヴアルの時代が訪れたことを実感させる。情報リテラシーがますます重要になってくる。来月以降、精しく書けるかも知れない。

◇まとめ・つぶやきなど

○11月23、24日（土、日）「親子孫で楽しい仮説実験講座イン上田」好評のうちに無事終了。2日間、アシスタントとして大いに楽しく学ぶことができました。上田での初の試みで渡辺さんのお手伝いできて、とても有意義な時間でした。また、こうした機会があれば、参加・参画していきたいと思っています。

〔2019年12月20日（金）夕刻・クリスマスに向けて「情報リテラシーの授業」を企画。ワクワクしています〕